

4 自分のしたいことができる小規模宅老所

【き】自分が高齢者になったとき、過ごしたい場所は？

普通の主婦が、自分が高齢者になったときに、どんな施設で過ごしたいかなと考えたのがきっかけです。婦人会や社会福祉協議会など、いろんな仲間に声をかけて平成13年に立ち上げました。名前の「七色」は、いろんな趣味や特技を持った人の集まりという意味です。

【概】いつも家庭的な雰囲気の中でスタッフが温かく見守っています

超高齢化社会といわれる今日、大規模施設は次々と建設されていますが、それらが本当に利用者の要望に答えているかどうかは疑問です。私たちは、小規模だからこそできる、高齢者一人ひとりの個性に合わせた介護を実施しています。

【成】一人ひとりの笑顔が成果！

お年寄り一人ひとりのうれしそうな顔、ご家族の感謝の声、何よりの成果です。スタッフはみんな超多忙ですが、充実感でいっぱいです。また、稲美町の保健師さんなどに講師をお願いし、施設利用者のご家族も交えた勉強会を開催しています。お年寄りは手芸などで楽しい時間を過ごし、ご家族は介護不安の解消になったと喜んでくださっています。

【夢】「託老所七色のとうがらし 平岡の家」開設！

平成17年4月から、加古川市平岡町に「託老所七色のとうがらし 平岡の家」がオープンします！また、利用者のご要望に応え、ナイトケアを計画しています。ぜひご利用ください。

いつかは、宅老所本来のお泊まりができるようにして、お年寄りにいつでも安心して利用していただける場所にしたいです。



室内運動会



ボランティアさんのコンサート

NPO法人宅老所
七色のとうがらし

代表者氏名：山口之子
活動地域：加古川市加古郡全域
事務所等：加古郡稲美町北山289-1
電話番号：0794-92-7006
FAX番号：0794-92-7006

とも
に
取
り
組
んだ
団
体
等

七色応援団

いろいろな趣味や特技を持った人に声をかけ、バザーや勉強会などのお手伝いをしていただいています。

活用した支援

コミュニティビジネス離陸応援事業（兵庫県）



相手が何を望んでいるのか？を第一に考えています

設立当初は未経験者ばかりで無我夢中でした。稲美町役場の保健師さんや他の施設にも相談しました。しかし、何より重視したのは施設の方針を押しつけるのではなく、利用者が何を望んでいるかを考え、それに応えられるよう努力することです。小規模施設だからこそ、家庭的な雰囲気の中で、お年寄り一人ひとりのニーズに応え、いつも近くで介護スタッフが見守ることができています。

他にも、ご家族を交えた勉強会の開催を通じて、ご家族に介護のノウハウを提供するなど、常に利用者であるお年寄りと、それを支える人たちの立場に立って頑張っています。



一石三鳥？のバザー開催

毎年、バザーを開催しています。施設を利用されているお年寄りや、ボランティアさんがつくった手芸品や加工品を販売しています。活動資金になるだけでなく、お年寄りはこのバザーを励みのひとつに手芸などを楽しむことができますし、地域の方々とのおふれあいの場にもなっています。

バザーについては、ポスターの掲示などでPRしているほか、稲美町内へは有線農協に町内放送をお願いしています。

求ム!

平成17年4月から、七色のとうがらしでは、加古川市平岡町に、「託老所七色のとうがらし 平岡の家」をオープンします。

詳しいことは、前ページの連絡先までお問い合わせください。

その他、毎年バザーを開催しているので、手芸品や不要品などありましたらご連絡ください。



おはぎづくり

読者の皆さんへのメッセージ

小規模な事務所だからできる、押しつけの介護ではなく、利用者の立場に立った介護を心がけています。利用者には充実した一日を過ごしてもらいたいから、スタッフには、「自分がしてほしい介護を利用者に提供する事」をいつもいっています。